

図書館だより



図書館
ウェブサイト

市内図書館の開館時間 10:00～18:00 ※古市[～17:30]、中央[平日のみ～20:00]
全館休館：毎月最終日 ※例の場合は翌日、12月を除く
ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 開館(休)日 13:30～16:30

市内図書館	おはなし会	特集テーマ
中 央 ☎072-950-5501 (月)休館	9 日(日) 23 日(日) 15 日(土) 15 日(土)	1:00～ 11:00～ 15:00～ 一般・ひんやりする本／児童・なつのたのしみ 特集 1・きたむらさとしの本 (8 月 9 日まで) 特集 2・夏の本と課題図書
陵南の森 ☎072-952-2750 (金)休館	9 日(日) 22 日(土) 15 日(土) 16 日(日) 小さい子向け 16 日(日) 少し長い話を聞ける子向け	11:00～ 15:00～ 11:00～ 11:30～ 一般・サマーブックフェス！～夏に読みたい本～ 児童・かこさとし 生誕 100 年
東 部 ☎072-950-2002 (金)休館	12 日(木)	10:30～ 宇宙への道
古 市 ☎072-958-0050 (月)(火)休館	定例のおはなし会はありません	一般・冒険に出る。／児童・ぼうけんしよう！
羽曳が丘 ☎072-958-8653 (金)休館	8 日(土) 22 日(土)	11:00～ 暑い夏をのりきろう
丹 比 ☎072-937-2355 (金)休館	定例のおはなし会はありません	夏休みに役立つ本

こわいおはなし会 (陵南の森)

事前申込不要・どなたでも参加可

とき 8 月 2 日(日) 11:00～

場所 おはなしのへや (陵南の森図書館)



図書館見学&貸出体験 (陵南の森)

とき 8 月 26 日(木) 10:00～11:00

場所 陵南の森図書館 (開架・書庫)

定員 先着 20 人 (図書館利用カードを持っている人)

申込 8 月 12 日(木) 10:00～陵南の森図書館へ来館

～図書館で映画を楽しもう～ わくわくドキドキ★ムービーシアター

① 8 月 6 日(木) 『ドクター・ドリトル』	申込 受付中
② 8 月 9 日(日) 『ターボ 特別編』	
③ 8 月 20 日(木) 『ゴーストバスターズ / フローズン・サマー』	
④ 8 月 23 日(日) 『小さい魔女とワルブルギスの夜』	
⑤ 9 月 6 日(日) 『プリズン・エスケープ 脱出への 10 の鍵』	8 月 13 日(木)～申込
⑥ 9 月 20 日(日) 『イエスタデイ』	8 月 27 日(木)～申込

※各回上映 14:00～ (開場 13:30～)

場所 LIC はびきの映像セミナー室 対象 図書館利用カードを持つ人 (先着 45 人)

申込 各上映の前日までに中央図書館窓口・電話・ウェブサイトにて申込

朗読ボランティア入門講座 (全 6 回) ※9 月 24 日(木)を除く

とき 9 月 10 日～12 月 10 日の第 2・4 回 10:00～12:00

講師 朗読ボランティアグループ「はびきの」

定員 先着 15 人 場所 陵南の森公民館 視聴覚室

申込 8 月 5 日(木) 10:00～陵南の森図書館へ来館が電話

図書館休館のお知らせ (館内整理日)

8 月 26 日(木) 市内図書館は全て休館

資料の返却はブックポストへ



サラダボール

夏休みを迎え、ご自宅で過ごす機会も多いとおもいますが、私たちは日ごろ、「学校に行くこと」や「働くこと」は当たり前のように考えがちです。しかし、その一歩を踏み出すこと自体に、大きな不安や苦しさを感じている方もいます。

「就職できない」「仕事が続かない」。そうした悩みは家庭の中に留まりやすく、周囲からは見えにくいものです。その背景には、本人の特性や過去の経験、人との関わりへの不安、就職氷河期等の社会情勢の影響など、ひとりひとり異なる事情があります。

羽曳野市では、令和 7 年度より就労支援事業「プラットフォームサポート事業」、通称「プラサポ」を実施して

います。

プラサポでは、支援者が独断で「こうしましょう」と答えを提示することはありません。まずはご本人の話を聞き、ご家族にもお話を伺います。同じテーブルで、本人・家族・支援者が一緒に話す場をつくることもあります。「働きたい気持ち」と「働くことへの怖さ」が同居していても、それで構いません。相反する気持ちをそのまま表現できる場で話を重ねるうちに、「まずはここから試してみたい」というご本人の言葉が生まれてきます。その言葉を起点に、次の一歩を一緒に決めていきます。

プラサポでの活動を通じて「少し外に出られた」「人と話せた」「相談にながった」といった小さな変化を積み重ねていき、その先にある経済的自

立を目指していきます。

令和 6 年度に実施した「羽曳野市こども・若者の意識と生活に関する調査」では、市に必要な取組として 30.9%の方が「就職に向けた相談やサポート体制の充実」と回答されました。見えにくい悩みでも、支援の必要性は地域の中で確かに感じられています。

プラサポは、本人の意思決定を尊重し、信頼関係を土台にした伴走型の支援を大切にしています。セミナーや個別相談、居宅訪問など、ご本人のペースに合わせて関わりを重ねていきます。ご関心のある方は、経済労働課までお問い合わせください。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会